

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <http://www.odawara-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石塚 立身

(TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	5,986	152.2	△253	—	△252	—	△283	—
25年12月期第3四半期	2,374	△38.2	3	△99.0	67	△83.8	571	142.9

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △340百万円(—%) 25年12月期第3四半期 667百万円(168.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△48.62	—
25年12月期第3四半期	97.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	12,243	8,296	63.4
25年12月期	12,121	9,039	69.4

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 7,760百万円 25年12月期 8,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	77.7	150	△17.9	95	△74.5	25	△96.2	4.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年12月期3Q	6,392,736株	25年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	1,088,663株	25年12月期	539,241株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年12月期3Q	5,829,280株	25年12月期3Q	5,853,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響による一部の弱い動きや、企業収益の改善に足踏みがみられるなど企業の業況判断は慎重になっているものの、設備投資の増加傾向、雇用情勢の着実な改善など、全体として緩やかな回復基調が続きました。

一方世界経済は、中国では景気の拡大テンポは緩やかになり、米国では景気が回復し、欧州では景気が持ち直し、一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開し、前連結会計年度にローヤル電機株式会社及び同社の連結子会社5社を連結子会社としたことにより、売上高は5,986百万円(前年同四半期比152.2%増)となりましたが、利益面につきましては巻線機事業の幾つかの案件の売上が第4四半期以降にずれ込んだことや、開発要素の高い案件や先を見据えた研究開発を進めたことに加え、棚卸資産の評価損増加により、営業損失は253百万円(前年同四半期は3百万円の営業利益)、持分法による投資損失97百万円を計上したことなどにより、経常損失は252百万円(前年同四半期は67百万円の経常利益)、連結子会社において減損損失77百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は283百万円(前年同四半期は571百万円の四半期純利益)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度よりローヤル電機株式会社及びその子会社を連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを、「巻線機事業」及び「送風機・住設関連事業」に変更しております。また、企業再生支援事業は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「その他」に区分しております。なお、前第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、前年同四半期との対比の記載はしていません。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、自動車向け設備や家電製品向けの輸出案件等により、売上高は2,956百万円となりましたが、開発要素の高い案件や先を見据えた研究開発を進めたことに加え、棚卸資産の評価損が増加したことにより、セグメント損失は116百万円となりました。

②送風機・住設関連事業

送風機事業に関しては、軸流工作機械向けの生産増加に伴う納期の前倒しや、工作機械中国向けの市場が好調に推移したこと等により、住設関連事業に関しては、新規住宅着工件数の回復鈍化の影響を受けたものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動は、懸念された大きな落ち込みがなく、売上高は2,991百万円、セグメント利益は円安による材料費上昇の影響があるものの、58百万円となりました。

③その他

企業再生支援事業により、売上高は38百万円、セグメント利益は6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、7,903百万円となりました。これは主に、商品及び製品が555百万円、仕掛品が663百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1,577百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、4,340百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が480百万円増加したこと等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、12,243百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて36.0%増加し、3,208百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が141百万円、前受金が643百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、738百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて28.1%増加し、3,947百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.2%減少し、8,296百万円となりました。これは主に、自己株式が338百万円増加し、利益剰余金が341百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、今後の需要動向が不透明であることから、平成26年8月8日に公表いたしました予想数値を据え置いております。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,477,117	1,899,422
受取手形及び売掛金	2,252,283	1,958,879
電子記録債権	71,667	275,185
営業投資有価証券	219,374	222,198
商品及び製品	767,956	1,323,350
仕掛品	686,754	1,349,946
原材料及び貯蔵品	357,827	393,870
未収還付法人税等	7,738	1,832
繰延税金資産	143,236	238,170
その他	124,915	242,351
貸倒引当金	△1,848	△2,108
流動資産合計	8,107,023	7,903,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,309,592	2,841,520
減価償却累計額	△1,403,725	△1,455,638
建物及び構築物(純額)	905,866	1,385,881
機械装置及び運搬具	1,050,618	1,081,270
減価償却累計額	△876,272	△893,555
機械装置及び運搬具(純額)	174,345	187,715
工具、器具及び備品	1,025,361	1,071,581
減価償却累計額	△861,049	△892,891
工具、器具及び備品(純額)	164,311	178,689
土地	1,618,847	1,619,881
建設仮勘定	66,780	13,800
有形固定資産合計	2,930,152	3,385,968
無形固定資産		
ソフトウェア	86,175	52,211
電話加入権	5,069	5,059
その他	214	202
無形固定資産合計	91,459	57,473
投資その他の資産		
投資有価証券	684,111	617,568
破産更生債権等	50,000	0
繰延税金資産	35,769	28,127
その他	223,077	251,393
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	992,957	897,089
固定資産合計	4,014,569	4,340,531
資産合計	12,121,592	12,243,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,160,441	1,302,172
短期借入金	230,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	17,368	—
未払金	173,047	132,369
未払法人税等	25,563	114,481
前受金	484,582	1,127,757
賞与引当金	51,029	148,699
アフターサービス引当金	38,186	48,986
その他	178,625	104,341
流動負債合計	2,358,845	3,208,807
固定負債		
繰延税金負債	53,785	67,532
退職給付引当金	297,514	276,678
役員退職慰労引当金	320,370	338,859
資産除去債務	32,623	33,010
その他	19,425	22,736
固定負債合計	723,718	738,817
負債合計	3,082,563	3,947,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,580,813	1,580,813
利益剰余金	6,104,468	5,762,492
自己株式	△421,215	△760,212
株主資本合計	8,514,882	7,833,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,107	88,398
繰延ヘッジ損益	△3,091	△770
為替換算調整勘定	△170,308	△160,930
その他の包括利益累計額合計	△98,293	△73,302
新株予約権	100	—
少数株主持分	622,339	535,399
純資産合計	9,039,028	8,296,006
負債純資産合計	12,121,592	12,243,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,374,086	5,986,889
売上原価	1,631,906	4,898,243
売上総利益	742,180	1,088,646
販売費及び一般管理費	738,534	1,342,425
営業利益又は営業損失(△)	3,645	△253,779
営業外収益		
受取利息	3,354	4,019
受取配当金	48,230	57,494
その他	11,842	47,656
営業外収益合計	63,427	109,169
営業外費用		
支払利息	—	1,184
持分法による投資損失	—	97,019
その他	—	10,085
営業外費用合計	—	108,289
経常利益又は経常損失(△)	67,072	△252,899
特別利益		
固定資産売却益	—	397
負ののれん発生益	531,867	—
新株予約権戻入益	—	100
特別利益合計	531,867	497
特別損失		
固定資産除却損	460	197
減損損失	—	77,855
特別損失合計	460	78,053
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	598,478	△330,455
法人税、住民税及び事業税	35,644	123,015
法人税等調整額	△9,031	△86,250
法人税等合計	26,613	36,765
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	571,865	△367,220
少数株主損失(△)	—	△83,779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	571,865	△283,441

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	571,865	△367,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,617	15,227
繰延ヘッジ損益	145	2,321
為替換算調整勘定	64,797	8,820
その他の包括利益合計	95,559	26,369
四半期包括利益	667,425	△340,851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,425	△258,450
少数株主に係る四半期包括利益	—	△82,400

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086
セグメント利益	195,169	—	195,169	—	195,169	△191,524	3,645

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益の調整額△191,524千円の主なもの、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、ローヤル電機株式会社及び同社の連結子会社5社が連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一のセグメントから、「巻線機事業」「送風機・住設関連事業」に変更しております。

なお、みなし取得日を平成25年9月30日としているため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「巻線機事業」及び「送風機・住設関連事業」において、ローヤル電機株式会社の株式を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益531,867千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,956,835	2,991,419	5,948,254	38,635	5,986,889	—	5,986,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	408	408	—	408	△408	—
計	2,956,835	2,991,827	5,948,662	38,635	5,987,298	△408	5,986,889
セグメント利益又は 損失(△)	△116,113	58,317	△57,795	6,275	△51,520	△202,258	△253,779

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△202,258千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「巻線機事業」において、一部の連結子会社で当第3四半期連結会計期間に、将来の回収可能性を検討した結果、当初予測したキャッシュ・フローが見込めないため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては77,855千円であります。